

平成29年度 北九州空港の利用状況

1 利用者数

平成29年度の利用者数の合計は、1,644,094人で、過去最高の利用者数となった。

	平成29年度（人）		平成28年度（人）
	利用者数	前年度比	
利用者数合計	1,644,094	117.2%	1,402,796

(1) 定期便(国内)

国内線全体の利用者数の合計は、1,348,454人で、4年連続で、過去最高の利用者数を更新した。

	平成29年度（人）				平成28年度（人）		
	利用者数 （人）	前年度比	提供座席数 （人）	利用率	利用者数 （人）	提供座席数 （人）	利用率
東京（羽田）	1,294,848	104.5%	1,795,921	72.1%	1,238,549	1,740,660	71.2%
名古屋（小牧）	25,209	40.7%	59,316	42.5%	61,880	113,944	54.3%
沖縄（那覇） (H29.7.4～10.10、H30.2.8～)	28,397	—	44,400	64.0%	—	—	—
合計	1,348,454	103.7%	1,899,637	71.0%	1,300,429	1,854,604	70.1%

(2) 定期便(国際)

国際線全体の利用者数の合計は、245,781人で、前年度に比べ大幅に増加し、過去最高の利用者数を更新した。

	平成29年度（人）				平成28年度（人）		
	利用者数 （人）	前年度比	提供座席数 （人）	利用率	利用者数 （人）	提供座席数 （人）	利用率
大連 (H28.10.30～)	17,811	158.7%	24,260	73.4%	11,226	15,220	73.8%
釜山 (H28.12.1～)	82,012	234.0%	113,022	72.6%	35,042	44,222	79.2%
ソウル（仁川） (H28.12.13～)	145,958	536.7%	193,212	75.5%	27,196	31,605	86.0%
合計	245,781	334.6%	330,494	74.4%	73,464	91,047	80.7%

(3)チャーター便・臨時便

国内・国際線の合計で、3年連続で過去最高を更新する829便が実施され、利用者数は、49,859人であった。

	平成29年度				平成28年度	
	利用者数 (人)	前年度比	就航便数 (便)	前年度比	利用者数 (人)	就航便数 (便)
国内	13,946	316.7%	181	464.1%	4,404	39
国際	35,913	146.6%	648	264.5%	24,499	245
合計	49,859	172.5%	829	291.9%	28,903	284

【今後の就航予定】

- ・5月13日 韓国・務安(ムアン)線、韓国・襄陽(ヤンヤン)線【コリアエクスプレスエア】
- ・10月末 台湾・台北線【スターフライヤー】

【今後の取組み】

- ・平成30年度は、「北九州空港将来ビジョン推進強化期間」の最終年度にあたるため、福岡県とも一層緊密に連携し、国際定期路線の利用促進に努める。
- ・特に韓国路線については、インバウンドに依存した利用状況となっており、路線の安定化に向けアウトバウンドの集客対策に努める。
- ・国内線については、東京羽田路線と合わせ、名古屋小牧線、季節定期便の那覇線の集客に努める。
- ・新たな新規路線の誘致についても、積極的に取り組む。

2 貨物取扱量

平成29年度の実績は4,880トンと、前年度の57.7%となった。

	平成29年度 (t)		平成28年度 (t)
		前年度比	
貨物取扱量合計	4,880	57.7%	8,451

	平成29年度 (t)		平成28年度 (t)
		前年度比	
国内	3,678	60.9%	6,044
国際	1,202	49.9%	2,407

【今後の就航予定】

- ・6月4日 北九州－沖縄国際定期貨物便 【ANA Cargo】

【今後の取組み】

これまで以上に広範囲の集貨や、更なる需要の掘り起こしに取り組み、貨物拠点化の推進に努める。